

令和6年度

1級建築施工管理技術検定 第二次検定

解

答

試

案

※ご注意※

- ・本解答は、令和6年10月29日にCIC日本建設情報センターが独自に制作・編集したもので、予告なく変更する場合がございます。また、CIC日本建設情報センターが独自の見解に基づき制作したもので、試験結果等について保証するものではありません。
- ・解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので、悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)建設業振興基金とは、一切関係ございません。

CIC 日本建設情報センター

<https://www.cic-ct.co.jp/>

不許複製

必須問題

問題 1

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

問題 2

建築工事における次の設備又は機械を安全に使用するための留意事項を、それぞれ2つ具体的に記述する。ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、保護帽や要求性能墜落制止用器具等の保護具の使用、気象条件、資格、免許及び届出に関する記述は除くものとする。また、使用資機材に不良品はないものとし、2.を除き保守点検に関する記述は不可とする。

下記以外にも正答となり得る留意すべき事項はあるが、本試案では代表例を提示する。

1. バケット容量 0.5 m ³ 程度の バックホウ	(1)	運転者が運転位置から離れるときは、バケット等の作業装置を地上におろさせる。
	(2)	作業場所の地盤強度を確認し、地盤の軟弱な箇所での作業を実施するにあたっては、鉄板敷き等の養生を確実に行う。
2. 工事用の 仮設電力設備	(1)	仮設の配線や移動電線を、原則、通路面において使用させない。
	(2)	キュービクル、変圧器等は、転倒防止のためアンカーボルトでコンクリート等に固定する。
3. ホイール式 垂直昇降型の 高所作業車	(1)	規定の措置をした場合を除き、作業床に作業員を乗せたまま走行させない。
	(2)	高所作業車の能力を超える積載荷重で使用させない。

問題3

1	作業⑤の作業内容	天井足場解体
	作業⑧の作業内容	タイルカーペット張り
2	総所要日数	28日
3	作業④のフリーフロート	2日
	作業⑦のトータルフロート	1日
4	総所要日数	28日

問題4

次の各問いの施工上の留意事項を2つ、具体的に記述する。ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、材料(仕様、品質、搬入等)、作業環境(騒音、振動、気象条件等)、清掃及び安全に関する記述は除くものとする。

下記以外にも正答となり得る留意事項はあるが、本試案では代表例を提示する。

1. 有機系接着剤 を用いた外壁 タイル張り	(1)	接着剤の1回の塗布面積の限度は、接着剤の張付け可能時間内に張り終える面積とする。
	(2)	接着剤を金ごて等で下地に塗布した後、くし目ごてを使って60度を保って裏あしに対して直交又は斜め方向にくし目を立て、タイルを張り付ける。
2. アルミニウム 製笠木	(1)	笠木の継手部はジョイント金具によるはめあい方式とし、ジョイント部はオープンジョイントを原則とし、5～10mmのクリアランスを設ける。
	(2)	取付けはコーナー部分笠木を先に取り付け、直線部材についてはパラペット全体の形状を勘案し、定尺を中心に割り付ける。
3. セルフレベリ ング材塗り	(1)	コンクリート床面のセルフレベリング材の塗り厚の標準値は10mmで、流し込みは1回で行う。
	(2)	セルフレベリング材の流し込みは、塗布した吸水調整材を十分に乾燥させてから行う。
4. ビニル床シー トの平場部の 張り付け	(1)	張付けは、圧着棒を用いて空気を押し出すように行い、その後ローラーで接着面に気泡が残らないよう圧着しながら張り付ける。
	(2)	床シートは長めに裁断して仮敷きし、24時間以上放置して敷き延ばして巻きぐせをとってから使用する。

問題 5

各記述において、 に当てはまる最も適当な語句又は数値の組合せを、枠内から 1 つ選ぶ。

	最も適当な語句又は数値の組合せ		最も適当な語句又は数値の組合せ
1	③	5	③
2	⑤	6	①
3	②	7	②
4	④	8	⑤

問題 6

各法文において、 に当てはまる正しい語句を、枠内から 1 つ選ぶ。

1. 建設業法	①	④
	②	②
2. 建築基準法施行令	③	①
	④	③
3. 労働安全衛生法	⑤	⑤
	⑥	①